

学生募集要項

2022（令和4）年度

松本歯科大学大学院

歯学独立研究科口腔疾患制御再建学専攻
博士課程

一 般 選 抜
社 会 人 特 別 選 抜
外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜
秋 期 選 抜



松本歯科大学

松本歯科大学大学院（博士課程）3つのポリシー

○大学院アドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）

松本歯科大学大学院は、口腔生命科学の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、もって文化の進展に寄与することを目的とし、創造性豊かな優れた研究者を養成するとともに、社会環境に柔軟に対応できる豊富な学際的知識と専門技術を修得した境界型研究者・歯科医療職業人を養成するために、幅広い分野から創造性豊かな次のような学生を受け入れる。

- ・ 歯科医学・歯科医療の発展に使命感を持っている人材
- ・ 高度な研究・医療を推進できる能力・技能を開発し、口腔生命科学の進歩に貢献しようとしている人材
- ・ すでに社会に出ている開業医や病院などの勤務医及び歯科医療関連企業に在籍している研究者で、高度な歯科医学研究・教育及び臨床を学び社会に貢献しようとしている人材

○大学院カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）

歯科医学の中心的課題である硬組織、顎口腔機能、口腔健康に関する研究を通じて、研究推進能力の涵養と共に、高い倫理性と自ら問題を解決する能力を備えた国際的に通用する人材を育成するため、基礎・臨床混在型カリキュラムを編成する。

- ・ 硬組織疾患制御再建学講座、顎口腔機能制御学講座及び健康増進口腔科学講座の3講座によるオムニバス方式の授業科目を設置する。（専攻共通科目）
- ・ 研究者としての基礎的知識を与え専門性を高めることを目的とした科目を開設する。（コア科目）
- ・ 関連研究領域に関する幅広い知識の吸収を目的とした科目を開設する。（関連研究科目）
- ・ 研究成果を論文として作成する能力の確立を目的とした科目を開設する。（高年次専門科目）

○大学院ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

大学院歯学独立研究科では、所定の期間在学し、研究科が定める授業科目について30単位以上を修得、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格し、又は、本学大学院の博士課程を修了した者と同等以上の学力を有することが確認された次の者に博士の学位を授与する。学位の名称は、博士（歯学）、新技術・新材料を用いた症例や特徴のある症例をまとめた場合においては博士（臨床歯学）、歯学の連携領域においては博士（学術）とする。

- ・ 創造性豊かな優れた研究能力を有している者
- ・ 社会環境に柔軟に対応できる豊富な学際的知識と専門技術を修得している者
- ・ 口腔生命科学の進歩に貢献できる研究者又は歯科医療職業人

◇ 目 次 ◇

●歯学独立研究科口腔疾患制御再建学専攻（博士課程）の案内	1
1. 大学院の目的	
2. 大学院の概要	
3. 昼夜開講制（社会人特別選抜）の実施	
4. 履修方法	
●学生募集要項	3
1. 募集人員	
2. 修業年限及び学位	
3. 出願資格	
4. 外国人留学生特別選抜	
5. 出願期間	
6. 出願方法	
7. 出願書類等	
8. 入学検定料	
9. 入学者選抜	
10. 合格者発表	
11. 出願資格審査	
12. 入学手続き	
13. 入学に必要な費用	
14. 追加募集について	
●研究内容一覧	9
●指導教員連絡先	13
●社会人特別選抜提出書類作成例	14
●出願手続書類	18

◇ 個人情報の取り扱いについて◇

松本歯科大学大学院歯学独立研究科では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報の取り扱いについて可能な限りの注意を払うとともに、皆様から提出していただく入学願書等の出願書類は、以下の基準で取り扱います。

1. 入学者選抜試験担当部署の長を管理責任者として、「学校法人松本歯科大学（以下「本法人」という。）個人情報の保護に関する規程」に則り、管理・保管いたします。
2. 収集した個人情報は、入学者選抜試験に関する連絡や入学者の選考に関する基礎資料としてのみ利用いたします。なお、法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要である場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
3. 提出していただいた入学願書等の出願書類は、本法人の定める保存期間の経過後は、適正に廃棄処理いたします。

※出願の際は、上記の個人情報に関する項目に同意された上で、入学願書等の出願書類を提出してください。

歯学独立研究科口腔疾患制御再建学専攻(博士課程)の案内

1 大学院の目的

松本歯科大学大学院は、世界に向かって開かれたまったく新しい研究・教育機関であり、『創造性豊かな優れた研究者を養成するとともに、社会環境に柔軟に対応できる豊富な学際的知識と専門技術を修得した境界型研究者・歯科医療職業人を養成する』ことを目的としています。

2 大学院の概要

本大学院研究科は、本学総合歯科医学研究所を基盤とした独立研究科で、そこに口腔疾患制御再建学の1専攻を設けています。専攻には、研究所の3部門を中核とした硬組織疾患制御再建学講座、顎口腔機能制御学講座及び健康増進口腔科学講座の3つの大講座を置き、大学院の高度化・活性化を図り、先端歯科医療・応用歯科医療の教育研究で一層の成果を目指します。

本学が目指している総合歯科医学研究所を基盤とした大学院歯学独立研究科は、従来設置されてきた学部講座と相似的な研究組織ではありません。これまで、学部講座を主体とする大学院教育及び研究は、縦制のかつ閉鎖的になりやすい点が指摘されています。そこで、本大学院は学部の講座制とは別に、研究目標を同じくするユニットが緩やかに結合した大講座制の独立研究科として構成されています。

大学院の基盤組織である本学研究所は、3部門の内の2部門で歯科医学の中心的課題である硬組織及び顎口腔機能の研究を行い、他の1部門で臨床歯科及び社会歯科領域の研究を行っています。硬組織疾患制御再建学部門と顎口腔機能制御学部門の2部門は、21世紀に更なる著しい発展が期待される生命科学分野であり、歯科医学における中心的研究分野である硬組織分子細胞生物学と顎口腔器官の主たる役割である摂食・咀嚼・嚥下機能の解明のための神経科学の分野に集中して研究を進めています。健康増進口腔科学部門では、前述の2部門で担当し得ない全人的な生活の質(QOL)を考慮した歯科医療、国民の口腔保健ニーズのフィールド調査など、統合的に口腔科学と口腔医療を研究・教育の対象として取り扱っています。

本大学院研究科では、上記研究所の研究活動を基盤として、研究者の養成と高度な医療人の育成を行います。

3 昼夜開講制(社会人特別選抜)の実施

社会の現場で活躍している開業医・勤務医や研究機関などに従事している社会人が、在職のまま大学院に進学し教育を受けることができるように、大学院設置基準第14条の教育方法の特例を適用し、昼夜開講制を実施します。

4 履修方法

1) カリキュラムの内容

本大学院生が履修すべき授業科目は、必修科目となる導入科目(2科目)と、選択必修科目となる導入科目(2科目)、コア科目(52科目)、関連研究科目(37科目)及び高年次専門科目(3科目)に分けられています。

本研究科において修得すべき30単位の履修方法は次のとおりです。

- ・ 導入科目 6単位以上 (3科目以上)
- ・ コア科目 16単位 (4科目)
- ・ 関連研究科目 4単位以上 (1科目以上)
- ・ 高年次専門科目 4単位 (1科目)

2) 修了要件

本研究科に4年以上在学し、30単位以上を修得、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することで修了となります。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げ、かつ、研究科委員会が認めた者については、研究科に3年以上在学すれば足りるものとします。

3) 授業科目一覧

区分	必修の別	受講学年	科目名	
導入科目	必修 2科目	1	口腔疾患制御再建学研究論 医療・科学倫理学概論	
	選択必修 1科目以上	1	口腔生命科学研究方法論 口腔生命科学臨床応用論	
コア科目	選択必修 4科目	1. 2. 3	硬組織形態解析学入門 硬組織形態解析学実験Ⅰ 硬組織形態解析学実験Ⅱ 硬組織形態解析学演習 硬組織機能解析学入門 硬組織機能解析学実験Ⅰ 硬組織機能解析学実験Ⅱ 硬組織機能解析学演習 硬組織発生・再生工学入門 硬組織発生・再生工学実験Ⅰ 硬組織発生・再生工学実験Ⅱ 硬組織発生・再生工学演習 遺伝子工学・分子創薬学入門 遺伝子工学・分子創薬学実験Ⅰ 遺伝子工学・分子創薬学実験Ⅱ 遺伝子工学・分子創薬学演習 硬組織疾患形態解析学入門 硬組織疾患形態解析学実験Ⅰ 硬組織疾患形態解析学実験Ⅱ 硬組織疾患形態解析学演習 生体材料学入門 生体材料学実験Ⅰ 生体材料学実験Ⅱ 生体材料学演習 臨床病態評価学入門 臨床病態評価学実験Ⅰ	臨床病態評価学実験Ⅱ 臨床病態評価学演習 咀嚼機能解析学入門 咀嚼機能解析学実験Ⅰ 咀嚼機能解析学実験Ⅱ 咀嚼機能解析学演習 生体調節制御学入門 生体調節制御学実験Ⅰ 生体調節制御学実験Ⅱ 生体調節制御学演習 臨床機能評価学入門 臨床機能評価学実験Ⅰ 臨床機能評価学実験Ⅱ 臨床機能評価学演習 口腔健康分析学入門 口腔健康分析学実験Ⅰ 口腔健康分析学実験Ⅱ 口腔健康分析学演習 口腔健康政策学入門 口腔健康政策学実験Ⅰ 口腔健康政策学実験Ⅱ 口腔健康政策学演習 医療経営政策学入門 医療経営政策学実験Ⅰ 医療経営政策学実験Ⅱ 医療経営政策学演習
関連研究科目	選択必修 1科目以上	2. (3)	口腔機能解剖学 口腔微細形態学 口腔機能生理学 口腔分子生化学 口腔微生物学 口腔病理病態学 口腔細胞分子薬理学 口腔生体理工学 口腔予防保健学 医療保健行動学 むし歯治療学 口腔ケア・予防歯科学 歯科矯正診療学 小児咬合成育学 小児口腔育成保健(予防歯科)学 有病者・特殊診療学 摂食・嚥下リハビリテーション学 咬合回復学 唇顎口蓋裂・言語治療学Ⅰ	美容歯科学 顎顔面修復学 スポーツ歯科学 口腔内科(検査・薬物療法)学 歯周・硬組織再生学 歯科インプラント学 顎変形・機能治療学 口腔腫瘍診療学 全身管理歯科診療学 顎顔面画像診断学 口腔病理診断学 口臭治療学 ドライマウス診療学 痛み・痺れ診療(ペインクリニック)学 いびき・睡眠時無呼吸診療学 心療歯科学 アンチエイジング治療学 口腔アレルギー診断学
高年次専門	選択必修 1科目	4. (3)	硬組織疾患制御再建学特論 顎口腔機能制御学特論 健康増進口腔科学特論	

学生募集要項（一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜・秋期選抜）

1 募集人員

専攻	大講座	募集人員
口腔疾患制御再建学専攻	硬組織疾患制御再建学講座	18名 (社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜、秋期選抜を含む)
	顎口腔機能制御学講座	
	健康増進口腔科学講座	

2 修業年限及び学位

標準修業年限は4年、履修内容により次の学位のいずれかが取得できます。

- 博士（歯学）
- 博士（臨床歯学）
- 博士（学術）

3 出願資格

本大学院に入学を志願することのできる者は、次のとおりです。

- 1) 大学（医学、歯学、薬学（6年の課程）又は獣医学（6年の課程）を履修する課程）を卒業した者
- 2) 外国において、学校教育における18年の課程（最終課程は医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る）を修了した者
- 3) 文部科学大臣の指定した者（昭和30年文部省告示第39号）
 - (1) 旧大学令（大正7年勅令第338号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した者
 - (2) 防衛庁設置法（昭和29年法律第164号）による防衛医科大学校を卒業した者
 - (3) 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期2年及び後期3年の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた者（学位規則の一部を改正する省令（昭和49年文部省令第29号）による改正前の学位規則（昭和28年文部省令第9号）第6条第1号に該当する者を含む）で大学院又は専攻科において、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - (4) 大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を除く）を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院又は専攻科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- 4) その他、本大学院が大学（医学、歯学、薬学（6年の課程）又は獣医学（6年の課程）を履修する課程）を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注) 出願資格3)－(3)・(4)及び4)により出願しようとする者は、「12. 出願資格審査」(P. 6)を参照し、あらかじめ出願資格の確認を受けてから出願してください。

上記出願資格者のほか、次のとおりとします。

注) 社会人特別選抜の場合、社会人とは出願時において、1年以上の就業（パート・アルバイト等の臨時的雇用者、臨床研修医期間及び主婦も就業経験を含む）経験を有する者をいう。

注) 日本語または英語での履修が可能です。

4. 外国人留学生特別選抜

外国人留学生特別選抜に志願する場合、6 出願期間以降の項目については、別途問い合わせてください。

注) 外国人留学生については、入学後、指導教員の指示する期間離日することはできない。

5. 転入学選抜

転入学選抜に志願する場合、6 出願期間以降の項目については、別途問い合わせてください。

6. 出願期間

区 分	出 願 期 間
第 I 期 試 験	2021（令和 3）年 10 月 12 日（火）～10 月 21 日（木）
第 II 期 試 験	2022（令和 4）年 02 月 08 日（火）～02 月 17 日（木）
秋期入学試験	2022（令和 4）年 06 月 13 日（月）～06 月 23 日（木）

注) ただし、土曜、日曜、祝日の窓口受付業務は休止します。

7. 出願方法

出願を希望する者は、あらかじめ志望する専攻分野の指導教員と博士課程の研究・教育について相談してください。

1) 直接出願する場合

- (1) 受付場所：松本歯科大学 学事室（大学院）（本館 2 階）
- (2) 受付時間：平日 9：00～17：00
- (3) 直接出願した場合の受験票は、受付の際に交付します。

2) 郵送出願する場合

- (1) 下記まで出願期間内に必着するように、返信用封筒を同封のうえ、必ず『書留速達』で送付してください。

提出先 〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780 松本歯科大学 学事室（大学院）

- (2) 郵送で出願された場合の受験票は、同封の返信用封筒で郵送します。

〔出願上の注意〕

- 1) 出願書類等は、一括して学事室（大学院）に提出してください。直接願書を提出する場合でも、同様です。
- 2) 出願書類に不備があった場合は、受け取れませんので十分注意をしてください。
- 3) 郵送の場合で試験日の数日前になっても受験票が届かない場合は、必ず学事室（大学院）に問い合わせてください。
- 4) 入学願書提出後、受験者の連絡先に変更があった場合は、ただちに学事室（大学院）に届け出てください。
- 5) 一度提出した書類、入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

8 出願書類等

次の書類等を一括して学事室（大学院）に提出してください。

1) 入学願書

本大学院所定の用紙に必要事項を記入し、顔写真を貼付してください。

2) 成績証明書

出身大学（学部）が作成し、密封したものを提出してください。修士課程出身者は、修士課程のものも併せて提出してください。

3) 大学卒業（見込）証明書

修士課程出身者は、修士課程のものも併せて提出してください。

4) 受 験 票

本学所定の用紙に必要事項を記入してください。

受験票（大学院用①）及び（受験者用）には、顔写真を貼付してください。

受験票（大学院用②）には、振込金受取証を貼付してください。

5) 受験票送付用封筒（郵送の場合のみ）

長型 3 号封筒（120mm×235mm）に 374 円分の切手を貼り、住所・氏名を記入したものを同封してください。

注) 顔写真は、カラー、出願前 3 か月以内に撮影したもので、縦 4cm×横 3cm のものとします。

6) 住民票の写し（在留外国人の場合）

国籍・地域、在留資格情報及び在留カード番号の記載があるもので、市区町村長が3か月以内に発行したものを提出してください。

[社会人特別選抜の場合]

上記1)～6)の出願書類のほか、次の書類を提出してください。

7) 志望理由書・研究計画書（P14作成例1参照）

志望理由及び研究計画についてA4用紙1枚以内にまとめてください。

8) 勤務先の承諾書（本大学院所定の用紙）

すでに就業しているか、又は入学後に就業することが見込まれる人は提出してください。

9. 入学検定料

30,000円

振込先
八十二銀行 松本営業部（普）#1176311 （学）松本歯科大学

入学検定料は銀行振込とします。振込完了後は、振込金受取証を受験票（大学院用②）に貼付のうえ他の出願書類とともに提出してください。

10. 入学者選抜

1) 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）及び出願書類の結果を総合して判定します。

2) 試験期日

区分	試験日
第Ⅰ期試験	2021（令和3）年11月04日（木）
第Ⅱ期試験	2022（令和4）年03月02日（水）
秋期入学試験	2022（令和4）年07月06日（水）

3) 試験科目及び時間割

(1) 一般選抜

時間	科目	備考
13:00～14:00	外国語（英語）	辞書持込可。ただし、電子辞書は不可
14:20～	面接（口述試験）	志願する専攻分野の口述試験を含めて行う

(2) 社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

時間	科目	備考
14:20～	面接（口述試験）	志願する専攻分野の口述試験を含めて行う

注）受験者は、試験開始15分前までに試験会場に集合してください。

4) 試験会場

松本歯科大学 実習館2階 総合歯科医学研究所セミナー室

11. 合格者発表

1) 合格発表日

区分	合格発表日
第Ⅰ期試験	2021（令和3）年11月11日（木）
第Ⅱ期試験	2022（令和4）年03月10日（木）
秋期入学試験	2022（令和4）年07月14日（木）

2) 発表方法

合格者は本学実習館2階掲示板に掲示するとともに、本人宛に文書で通知します。

注）電話等による個人的な合否に関する問い合わせには、一切応じません。

12. 出願資格審査（一般選抜・社会人特別選抜共通）

出願資格3) - (3)・(4)により出願しようとする者は、事前に学事室に問い合わせのうえ、次の手続きを行い、出願資格の確認を受けてから出願してください。

1) 受付期間

区 分	受 付 期 間
第 I 期 試 験	2021（令和3）年09月24日（金）～09月30日（木）
第 II 期 試 験	2022（令和4）年01月20日（木）～01月27日（木）
秋期入学試験	2022（令和4）年05月19日（木）～05月26日（木）

2) 提出書類

- (1) 入学願書（本大学院所定の様式）
- (2) 成績証明書（出身大学（学部）が作成し、密封したもの。）
- (3) 大学卒業（見込）証明書
- (4) 志望理由書（A4用紙1枚程度、様式任意）
- (5) 住民票の写し（在留外国人の場合）
国籍・地域、在留資格情報及び在留カード番号の記載があるもので、市区町村長が3か月以内に発行したものを提出してください。
- (6) 研究業績目録（P14作成例2参照）
研究概要（P15作成例3参照）
臨床経験概要（P15作成例4参照）

3) 審査方法

上記提出書類について、審査します。

4) 審査結果

本人宛に通知します。

13. 入学手続き

1) 手続きの方法

合格者には、「合格通知書」と「入学手続き書類」を送付しますので、入学手続き期間内に、入学手続き（学生納付金等の納付及び入学手続き書類の提出）を完了してください。〔合格発表日に発送〕
入学手続き完了者には「入学許可書」を交付します。

2) 手続き期間

入学手続き期間

区 分	手 続 期 間
第 I 期 試 験	2021（令和3）年11月11日（木）～11月25日（木）
第 II 期 試 験	2022（令和4）年03月10日（木）～03月23日（水）
秋期入学試験	2022（令和4）年07月14日（木）～07月28日（木）

注）入学手続き期間内に所定の手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものと扱います。

3) 授業料及び諸納付金振込後の入学辞退期限

区 分	入 学 辞 退 期 限
第 I ・ II 期 試 験 共 通	2022（令和4）年 03 月 23 日（水）
秋 期 入 学 試 験	2022（令和4）年 09 月 15 日（木）

入学手続き後に入学を辞退する場合は、上記期日までに申し出てください。所定の手続きのうえ、授業料及び諸納付金は返還します。

14. 入学に必要な費用

1) 学生納付金等

(単位：円)

学年	学 生 納 付 金		施設拡充費※1	諸納付金※2	在留学生等関連措置費※3	合 計
	入学金	授業料				
1	300,000	600,000	100,000	3,300	30,000	1,033,300
2	—	600,000	—	—	20,000	620,000
3	—	600,000	—	—	20,000	620,000
4	—	600,000	—	—	20,000	620,000
合計	300,000	2,400,000	100,000	3,300	90,000	2,893,300

※1：本学卒業生は免除

※2：「学生教育研究災害傷害保険」加入保険料（4年間）

※3：留学生および留学生同様の補助が必要な要件を満たす学生は、在留学生等の関連措置費として初年度3万円、2年目以降毎年度2万円（休学した場合は翌年度3万円）を徴収します。

2) 納入方法

(1) 入学に要する費用は、全額、銀行振込扱いとします。

(2) 授業料は、春期又は秋期に一括納入する。

振込先

八十二銀行 松本営業部（普）#1176311
（学）松本歯科大学

14 追加募集について

入学予定者が募集人員に満たない場合は、追加募集を行うことがあります。

問い合わせ先

松本歯科大学学事室（大学院）

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780

TEL 0263 (51) 2215

研究内容一覧

大講座	専攻分野	指導教員	主な研究内容
硬組織疾患制御再建学	硬組織形態解析学	中村 浩彰	1. 歯・歯周組織の発生と再生機構 2. 骨吸収と骨形成のカップリング機構
	硬組織機能解析学	宇田川信之	1. 破骨細胞分化に関する情報伝達機構の分子メカニズム 2. 歯周疾患及び関節リウマチにおける骨破壊メカニズム 3. 破骨細胞由来の骨芽細胞分化誘導因子の同定 4. 歯槽骨再生に関する臨床的研究
		小林 泰浩	1. 破骨細胞の分化と機能発現におけるプロスタグランデインの役割 2. 矯正力による歯槽骨リモデリング機構の解明 3. 新規破骨細胞分化抑制因子の同定 4. 破骨細胞の機能に及ぼす骨細胞の役割の解明
		中村美どり	1. 骨のカップリング機構に関する研究 2. 新規骨量増加作用を有する化合物に関する研究 3. 重力負荷の骨組織に対する影響の解明 4. 歯髄細胞の特性に関する研究 5. 顎骨再生に関する臨床的研究
		山下 照仁	1. 破骨細胞分化における転写因子の相互作用の解明 2. 骨吸収・骨形成のバランスにおける骨細胞の役割の解明 3. 概日リズムに支配される細胞分化制御の研究 4. 骨吸収における破骨細胞の極性化分子群の研究
		中道 裕子	1. Wnt シグナル伝達破綻によるメタボリック症候群発症機構 2. 活性型ビタミンDの多面的な生理作用に関する分子機構 3. ゲノム編集スクリーニングとリン酸化プロテオミクスによる骨形成促進因子の同定
		上原 俊介	1. 破骨細胞の機能調節における Wnt 非古典経路の役割 2. Rho-Pkn3 シグナルによる破骨細胞の細胞骨格制御機構 3. ダイナミンによる破骨細胞の極性化制御機構
		小出 雅則	1. 歯槽骨吸収の抑制および歯槽骨の再生に関する研究 2. 骨吸収から骨形成へのカップリング機構 3. 破骨細胞、骨芽細胞および骨細胞間の情報伝達機構の解明 4. 骨形成抑制因子であるスクレロスチン発現を抑制する破骨細胞因子の研究
		硬組織発生・再生工学	各務 秀明
	芳澤 享子		1. 口腔粘膜上皮前駆/幹細胞による口腔粘膜再生に関する研究 2. 骨、脂肪、歯根膜細胞による骨再生に関する研究 3. 移植歯の歯根膜再生と歯根吸収に関する研究 4. 歯根完成歯移植の予後予測とバリデーションスタディ
	遺伝子工学・分子創薬学	平岡 行博	1. 歯周病原性細菌 <i>Porphyromonas gingivalis</i> の増殖に必須な酵素の阻害剤の開発 2. ペプチダーゼの構造と機能の解析
		十川 紀夫	1. モノアミンおよびモノアミン関連因子による摂食制御機構の解明 2. 金属結合タンパク質メタロチオネインの生理機能の解明
		荒 敏昭	1. 歯周病に対する漢方薬治療法の基礎的研究 2. 歯周病に影響を及ぼす薬物の基礎的研究 3. 歯肉線維芽細胞における LPS トレランス機構の解明

硬組織疾患制御再建学	硬組織疾患病態解析学	長谷川博雅	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔粘膜病変の角化異常に関する分子病理学的研究 2. 口腔領域の脂肪性・血管性腫瘍の多様性を探る 3. 埋伏歯の歯冠周囲病変の成立に關与する分子機構の解明 4. 口腔腫瘍・腫瘍様病変の分子病理学的診断 	
		平賀 徹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 癌の骨転移の成立・進展機序 2. 癌の骨転移に対する治療法の基礎的検討 3. 口腔癌の顎骨浸潤メカニズム 4. 歯周組織再生のための基礎的研究 	
	生体材料学	黒岩 昭弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体材料の開発 2. 生体材料の適切な使用条件 3. 生体材料と生体の適切な力学的考察 4. チタン及びチタン合金の臨床応用に関する研究 5. 歯科補綴物の適合に関する研究 6. CAD/CAM の歯科応用 7. 補綴装置に関する有限要素解析 8. レジンセメントの色調に関する研究 	
		横井由紀子	<ol style="list-style-type: none"> 1. セラミックスを主とする生体材料の開発・解析 2. 歯の移動における力学的メカニズムの有限要素解析 	
	臨床病態評価学	岡藤 範正	<ol style="list-style-type: none"> 1. 矯正力による歯の移動に伴う歯槽骨改造過程 2. 顎骨延長術における移動様相と骨形成メカニズムの解明 3. rhBMP-2 による顎骨欠損部再建の形態学的解析 4. 顎骨欠損部再建過程における μCT を用いた三次元構築 	
		田口 明	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科用 X 線写真を用いた骨粗鬆症自動スクリーニングシステムの開発 2. 歯科用 X 線写真による動脈硬化早期診断システムの構築 3. 顎骨の三次元的骨梁構造に及ぼす遺伝の影響に関する研究 4. 超音波による新規顎骨骨質評価システムの開発 5. 骨粗鬆症と梗塞性心臓血管病変との関連に関する研究 6. 歯科医院における骨粗鬆症スクリーニングのための国際統一基準の確立 7. 骨粗鬆症スクリーニング遠隔教育システムの構築 8. 骨粗鬆症治療薬が顎骨骨梁構造に及ぼす影響の三次元的画像解析 	
		内田 啓一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科用液晶読影システム開発のための研究 — エックス線画像の比較評価 — 2. ハイブリッド型 CD-ROM による歯科放射線画像診断システムの開発 3. 無線 LAN 構築によるデジタル X 線画像のネットワーク配信システム 4. 教育用情報 Web システムの構築と応用 5. 歯科用 X 線写真を用いた骨粗鬆症自動スクリーニングシステムの開発 	
		影山 徹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科矯正治療の効果に関する研究 2. 歯科矯正治療と生体反応との関連に関する研究 3. 顎関節形態と顔面形態に関する研究 4. 歯科矯正用固定源（アンケースクリュー）に関する研究 5. 歯科矯正治療の痛みに関する研究 	
	顎口腔機能制御学	咀嚼機能解析学	増田 裕次	<ol style="list-style-type: none"> 1. 摂食行動に対する高次中枢神経系の役割 2. 咀嚼運動の遂行に關与する神経ネットワークの解明 3. 口腔感覚情報の変化が咀嚼運動におよぼす影響 4. 口腔運動異常の発現に關与する中枢神経機構 5. 口唇運動機能の特性
		生体調節制御学	澁谷 徹	<ol style="list-style-type: none"> 1. 三叉神経誘発電位による局所麻酔効果の判定 2. BIS(bispectrum analysis)モニタによる麻酔・鎮静深度の評価 3. 心電図 R-R 間隔の周波数解析による自律神経機能の評価

		金銅 英二	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎顔面領域における痛覚伝達メカニズムの解明 2. 口腔顔面痛に対する治療薬と治療法の開発 3. 神経障害性疼痛の病態解明 4. 炎症・発痛時の細胞内情報伝達分子の動態
臨床機能評価学		北川 純一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 神経障害性疼痛発症のメカニズム 2. 中枢神経系グリア細胞の活性化が関与する顎口腔機能変調のメカニズム 3. 嚥下反射誘発に対する嚥下中枢の役割 4. 「のどごし」の生理学的研究
		田所 治	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頭頸部の臨床解剖学 2. 歯根膜上皮の形態構造学的解析 3. 口腔感覚の受容伝達に関する形態学的解析 4. 口腔上皮における内分泌細胞の形態構造学的解析 5. 内在性タンパク質のリン酸化および脱リン酸化による唾液腺機能調節の形態構造学的解析
		谷山 貴一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 静脈内鎮静法における鎮静深度の客観的評価法 2. 自立神経活動に対する精神鎮静法の影響 3. 局所麻酔薬が組織血流量に及ぼす影響
	倉澤 郁文	<ol style="list-style-type: none"> 1. 顎関節症にともなう筋症状の成因 2. 口腔顔面痛が内分泌調節に及ぼす影響 3. クレンチングによる咬合力調節機構への影響 4. 食感評価における咀嚼音（気導音、骨導音）の役割 5. 口腔顔面機能としての楽器奏法に関する研究 	
	樋口 大輔	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研究. 患者立脚型アウトカム 2. 補綴装置の機能評価 3. 可撤性インプラント補綴装置 	
健康増進口腔科学	口腔健康分析学	音琴 淳一	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医学学習法と評価システムの開発 2. Nd:YAG レーザ、Er:YAG レーザ、KTP レーザを用いた歯周治療に関する基礎的・臨床的研究 3. 歯科疾患活動性（とくに歯周病・口臭）の診断方法開発 4. 3次元小型CT撮影装置を用いた歯内・歯周疾患の診断と治療評価
		山本 昭夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根管洗浄と吸引方法に関する基礎的研究 2. 歯科材料と歯質との接着面に関する研究 3. コア材料と歯根破折との関連に関する実験的研究
		吉成 伸夫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯周組織再生療法の臨床的評価、新術式の開発 2. 全身疾患と歯周病の関連に関する疫学、実験的研究 3. 歯周病の加齢への影響、抗加齢療法の創生 4. 高齢者に対するレーザーによる低侵襲性歯周病治療の開発 5. インプラント周囲炎の実態調査、治療法の開発
		* 大須賀直人	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎臼歯の萌出状態と下顎骨形態 2. 各種充填・修復材の pH およびフッ化物徐放性の経時的変化と生体安全性 3. in vivo micro-CT を用いたラット歯髓断髓法の観察
		吉田 明弘	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔バイオフィームと細菌間コミュニケーション 2. 歯周病細菌の病原性に関する分子遺伝学的研究 3. 侵襲性歯周炎における病因論の解明 4. 口腔フローラの破綻による疾患発症機構の解明
		亀山 敦史	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯質と修復材料との接着耐久性に関する研究 2. 歯科用接着材料の接着阻害因子への対応 3. オーラルケアによる各種修復材料の表面性状の変化 4. 各種光源による光重合型歯科用材料の硬化特性 5. Er:YAG レーザー照射歯質と各種修復材料との接着特性 6. 口臭に悩む患者の性格特性と不快症状の分析 7. ホワイトニング材料の成分による歯質・修復材料の構造変化

		増田 宜子	<ol style="list-style-type: none"> 1. レーザーを用いた光線力学療法による根管洗浄 2. 根管洗浄による根管象牙質内の様々な溶出因子の解明 3. 不可逆性歯髄炎への新たな治療法の開発 4. 歯髄細胞の硬組織産生機序の解明
口腔健康政策学		* 小笠原 正	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重症心身障害者におけるストレス評価と対応 2. 障害者における歯科医療行動の認知心理学的アプローチ 3. 歯科医療行動の意志決定プロセスの解析 4. 障害者・要介護高齢者の口腔乾燥症 5. 要介護高齢者における口腔乾燥
		* 齧島 弘之	<ol style="list-style-type: none"> 1. 咀嚼・嚥下機能の発達と老化に関する研究 2. 摂食嚥下リハビリテーションの効果に関する検証 3. 食事介助トレーニングキットの開発
		* 富田美穂子	<ol style="list-style-type: none"> 1. fMRI 解析による疼痛抑制機構の解明 2. 情動と自律神経のバランスとの関連性 3. 口腔機能が脳に及ぼす影響
		* 川原 一郎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 再生医療における医療現場のニーズと問題点の易学研究 2. バイオマテリアルに関する衛生学的研究
		* 正村 正仁	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツマウスガードの衝撃吸収能に関する研究 2. 応力作用時の歯のひずみに関する研究 3. 顎口腔系の状態変化が全身運動機能へ及ぼす影響に関する研究
		山賀 孝之	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔健康状態が冠動脈性心疾患・脳血管疾患の発症に与える影響 2. 歯周病進行予知のための口腔内揮発性硫黄化合物濃度測定による基準値の確立
			※印の教員が担当
	医療経営政策学		

指導教員連絡先

Faculty Contact Information

(※市外局番は、すべて0263)

大講座	ユニット／専攻分野	指導教員	電話番号	e-mail アドレス
硬組織疾患制御再建学	硬組織形態解析学	中村 浩彰	51-2042	hiroaki.nakamura@mdu.ac.jp
	硬組織機能解析学	宇田川 信之	51-2072	nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp
		小林 泰浩	51-2238	yasuhiro.kobayashi@mdu.ac.jp
		中村 美どり	51-2072	midori.nakamura@mdu.ac.jp
		山下 照仁	51-2235	teruhito.yamashita@mdu.ac.jp
		中道 裕子	51-2237	yuko.nakamichi@mdu.ac.jp
		小出 雅則	51-2226	masanori.koide@mdu.ac.jp
		上原 俊介	51-2226	shunsuke.uehara@mdu.ac.jp
	硬組織発生・再生工学	各務 秀明	51-2065	hideaki.kagami@mdu.ac.jp
		芳澤 享子	51-2075	michiko.yoshizawa@mdu.ac.jp
	遺伝子工学・分子創薬学	平岡 行博	51-2227	bernard.yukihiro.hiraoka@mdu.ac.jp
		十川 紀夫	51-2102	norio.sogawa@mdu.ac.jp
	硬組織疾患病態解析学	荒 敏昭	51-2103	toshiaki.ara@mdu.ac.jp
		長谷川 博雅	51-2092	hiromasa.hasegawa@mdu.ac.jp
	生体材料学	平賀 徹	51-2043	toru.hiraga@mdu.ac.jp
		黒岩 昭弘	51-2046	akihiro.kuroiwa@mdu.ac.jp
		横井 由紀子	51-6801	yukiko.yokoi@mdu.ac.jp
	臨床病態評価学	岡藤 範正	51-2335	norimasa.okafuji@mdu.ac.jp
田口 明		51-2095	akira.taguchi@mdu.ac.jp	
内田 啓一		51-2096	keiichi.uchida@mdu.ac.jp	
影山 徹		51-2086	toru.kageyama@mdu.ac.jp	
顎口腔機能制御学	咀嚼機能解析学	増田 裕次	51-2231	yuji.masuda@mdu.ac.jp
	生体調節制御学	金銅 英二	51-2032	eiji.kondo@mdu.ac.jp
		澁谷 徹	51-2125	tohru.shibutani@mdu.ac.jp
		北川 純一	51-2052	junichi.kitagawa@mdu.ac.jp
		田所 治	51-2034	osamu.tadokoro@mdu.ac.jp
	臨床機能評価学	谷山 貴一	51-2126	kiichi.taniyama@mdu.ac.jp
		倉澤 郁文	51-2265	ikufumi.kurasawa@mdu.ac.jp
	樋口 大輔	51-2250	daisuke.higuchi@mdu.ac.jp	
健康増進口腔科学	口腔健康分析学	音琴 淳一	51-2325	junichi.otogoto@mdu.ac.jp
		吉成 伸夫	51-2015	nobuo.yoshinari@mdu.ac.jp
		山本 昭夫	51-2025	akio.yamamoto@mdu.ac.jp
		大須賀 直人*	51-2105	naoto.osuga@mdu.ac.jp
		吉田 明弘	51-2082	akihiro.yoshida@mdu.ac.jp
		亀山 敦史	51-2146	atsushi.kameyama@mdu.ac.jp
		増田 宜子	51-2282	yoshiko.masuda@mdu.ac.jp
	口腔健康政策学	小笠原 正*	51-2355	tadashi.ogasawara@mdu.ac.jp
		富田 美穂子	51-2208	mihoko.tomida@mdu.ac.jp
		川原 一郎*	51-2236	ichiro.kawahara@mdu.ac.jp
		藪島 弘之*	51-2255	hiroyuki.haishima@mdu.ac.jp
		正村 正仁*	51-2106	masahito.shoumura@mdu.ac.jp
		山賀 孝之	51-2288	takayuki.yamaga@mdu.ac.jp
医療経営政策学	*印の教員が担当			

社会人特別選抜提出書類作成例

○作成例 1：志望理由書・研究計画書

志望理由書・研究計画書	
志望専攻分野	氏名
1 志望理由	
2 研究計画	
1) 研究のテーマ	
2) 研究計画の概要	

(注)

- 1 記載事項は、用紙1枚以内にまとめてください。
- 2 「研究計画の概要」には、研究目的、研究方法等について記入してください。
- 3 用紙は、A4判縦置きとし、ワードプロセッサで作成してください。

○作成例 2：研究業績目録

研究業績目録				
志望専攻分野		氏名		
番号	著書、学術論文、研究発表、特許等の名称	発行又は発表の年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	共著者又は共同発表者
1	著書			
2				
3	学術論文			
	学会発表			
	その他			

(注)

- 1 「著書」「学術論文」「学会発表」の欄は、年代の古い順から記入してください。
- 2 「共著者又は共同発表者」の欄は、著書、学術論文、研究発表等の記載順で記載してください。
- 3 「その他」には、社会的活動等を含めることができます。
- 4 用紙は、A4判縦置きとし、ワードプロセッサで作成してください。

○作成例 3：研究概要

研究概要			
志望専攻分野		氏名	
番号	著書、学術論文、 研究発表、特許等の名称	概要	自分の研究範囲
1			
2			

(注)

- 1 研究業績目録の番号に沿って記入してください。
- 2 用紙は、A4判縦置きとし、ワードプロセッサで作成してください。

○作成例 4：臨床経験概要

臨床経験概要		
志望専攻分野		氏名
年月	機関	概要

(注)

用紙は、A4判縦置きとし、ワードプロセッサで作成してください。

Admissions Guide
for
International Applicants

2022

Matsumoto Dental University
Graduate School

Doctoral Course
Graduate School of Oral Medicine

Contents

Doctoral Course, Graduate School for Oral Medicine

1. Purpose
2. Outline of Graduate School
3. Admissions Schedule
4. Curriculum

Special Admissions for International Applicants

1. Number of Students Admitted
2. Awarding of Degrees
3. Admissions Requirements
4. Eligibility
5. Application for Admission
6. Submission of Documents
7. Documents Required
8. Entrance Examination Fee
9. Selection
10. Notification of Results
11. Entrance Formalities
12. Matriculation Fees

List of Research Advisors and Possible Research Projects

Our Policy on Confidentiality of Personal Information

To protect the confidentiality of personal information, our Graduate School for Oral Medicine will handle any information that you submit according to the following criteria:

1. Your personal information will be maintained under the strict guidelines of the “Regulations for the Protection of Personal Information” of the Matsumoto Dental University Board of Admissions for the Graduate School.
2. Your personal information will only be used for mailing the documents that you request, and for the procedures that are needed for the admissions process. However, this protection may be excluded without your agreement, when a request is made by an appropriate legal authority, or for the safety or wellbeing of the applicant or other persons.
3. The documents that you submit will be properly disposed of after a period that is defined by Matsumoto Dental University.

Note: Please submit your agreement to this Protection Policy on Confidentiality of Personal Information.

Admissions Policy

Our objective is to attract students who will contribute to the advance of oral medicine and treatment, and who will become world leaders in this field. We therefore seek applicants with diverse backgrounds, including students from overseas.

Doctoral Course, Graduate School for Oral Medicine

1. Purpose

The Graduate School at Matsumoto Dental University is independent of our undergraduate programs, and the school awards graduates a doctoral degree. The Graduate School is managed with cooperation of Institute for Oral Science (IOS) with the aim of implementing high-level, state-of-the-art, and interdisciplinary education and research in oral medicine and treatment, while avoiding the sort of insulation or stagnation that is often seen in course-oriented graduate programs. Our Graduate School is devoted to the production of dental professionals whose creativity and intelligence are challenged so they can acquire the type of interdisciplinary knowledge and professional skills to deal with oral diseases and tissue engineering.

2. Outline of Graduate School

The Graduate School was established in 2003 through the Institute for Oral Science (IOS). IOS is an alliance of three research divisions - the Division of Hard Tissue Research, the Division of Oral and Maxillofacial Biology, and the Division of Oral Health Promotion. These three research divisions correspond to three departments of the Graduate School—the Department of Hard Tissue Research, the Department of Oral and Maxillofacial Biology, and the Department of Oral Health Promotion. These three departments work cooperatively to pursue high-level, state-of-the-art, and interdisciplinary work on oral diseases and tissue engineering. IOS supports the education and research of the Graduate School.

The Department of Hard Tissue Research and the Department of Oral and Maxillofacial Biology are both dedicated to life sciences, and the Department of Oral Health Promotion is dedicated to social sciences in oral medicine. The Department of Hard Tissue Research specializes in the study of hard tissues, mainly in terms of molecular and cellular biology, and the Department of Oral and Maxillofacial Biology specializes in the study of mechanisms for mastication and deglutition, mainly in terms of neuroscience. The Department of Oral Health Promotion encompasses social needs to ensure quality of life, with an emphasis on oral treatment and fieldwork in oral health.

3. Admissions Schedule

Graduate students typically enter at the beginning of the academic year, in April. However, students with permission may also enter at the beginning of the second semester, in October.

4. Curriculum

4-1. Subjects

Subjects that are available to our graduate students include introductory compulsory courses (2 subjects, 2 credits each), and electives. Electives courses include introductory electives (2 subjects, 2 credits each), core research courses (52 subjects, 4 credits each), associated research courses (37 subjects, 4 credits each), and specialized research courses (3 subjects, 4 credits each).

Each student must earn at least 30 credits, within the following guidelines, in order to complete the program:

- At least 6 credits must be introductory compulsory and introductory elective courses.
Note: Each student must select more than one subject out of two introductory elective courses, in addition to the two introductory compulsory courses.
- At least 16 credits must be chosen from the core research courses (i.e., ≥ 4 courses).
- At least 4 credits must be chosen from the associated research courses (i.e., ≥ 1 course).
- At least 4 credits must be chosen from the specialized research courses (i.e., ≥ 1 course).

4-2. Requirements for Completing Learning

Each student must earn at least 30 credits, succeed in defending a doctoral thesis, and pass a final examination to complete the four-year Graduate Course. However, after a minimum of three years of study, students showing outstanding performance in research may qualify for Merit-based Accelerated Graduation and may be eligible to complete the course early, upon successful review by the Graduate School Board.

Special Admissions for International Applicants

1. Number of Students Admitted

Major	Department	Number of Students Admitted
Oral Diseases and Tissue Engineering	<ul style="list-style-type: none">• The Department of Hard Tissue Research• The Department of Oral and Maxillofacial Biology• The Department of Oral Health Promotion	18 in total including: <ul style="list-style-type: none">• Special admission for social applicants, and• Special admission for international applicants

2. Awarding of Degrees

A doctoral degree—PhD in Dentistry, PhD in Clinical Dentistry, or PhD in Science—is awarded to a student who successfully completes four or more years of required course work and research, succeeds in defending a doctoral thesis, and passes a final examination. For Merit-based Accelerated Graduation, please see 4-2 in the Graduate School Guide.

3. Requirements for Admissions

- 3-1. The candidate must have graduated, or expect to graduate from a medicine, dentistry, or veterinary undergraduate course.
- 3-2. The candidate must have completed, or expect to complete, 18-years of schooling abroad, including the abovementioned medicine, dentistry, or veterinary course.
- 3-3. The candidate must be recognized by the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT) to be eligible for the study in Japan, according to Clause-39 in the MEXT Announcement, 1955, specifically:
 - A candidate who has graduated from a medicine or dentistry undergraduate course, according to the former University Law, Clause-338 of Imperial Decree, 1918.
 - A candidate who will graduate or has graduated from National Defense Medical College, according to the Defense Agency Establishment Act, Clause-164, 1954.
 - A candidate who will complete, or has completed a Master course, or will be awarded a Master degree, and who has completed two or more years of required course work and research of a 5-year Doctoral course and to be higher or equivalent as recognized by our Graduate School.
 - A candidate who has graduated from a Bachelor course of other than medicine, dentistry, or veterinary school, or has completed 16-year schooling abroad, experienced two or more years research, and to be higher or equivalent to those who are graduated from a medicine, dentistry, or veterinary undergraduate course.
- 3-4. The candidate must be admitted to be higher or equivalent to those who have completed 6-year course of medicine, or dentistry, or veterinary undergraduate school by our Graduate School.
- 3-5. The candidate must acquire a high-level of Japanese proficiency or English before entering our Graduate School.

4. Application for Eligibility

Applicants are strongly recommended to consult our **International Admissions Office** to ensure they have all required documents in advance of application.

4-1. Acceptance

Prospective students may apply for admission at any time.

4-2. Documents Required:

- Application form (in English).
- Official transcript of previous university studies (in English).
- Graduation certificate or diploma; or similar document that certifies graduation (in English).
- A letter explaining your reasons for choosing this graduate school, as well as your plan for research (in English). (Please type your letter on A4-size paper; there is no special format required.)
- A document that describes any clinical experience (in English). (A4-size paper; no special format required.)
- Two letters of recommendation (in English). (A4-size paper; no special format required.)
- One photocopy of your valid passport. (Important: The copy must be of the passport information page, showing the applicant's name, passport number and photograph.)
- One photocopy of your valid Foreign Resident Registration Card if you are a resident in Japan. (Important: The copy must be no more than three months old.)

4-3. Review of Eligibility

Eligibility will be determined based on the abovementioned documents.

4-4. Notification of Eligibility

Applicants will be directly notified about the result of the review.

Note) The foreign students should not leave Japan from the institution instructed by their supervisor after enrolling.

4-5. Indication of the English ability

An applicant who has earned either a TOEFL iBT score of 32 or above, IELTS score of 5.0 or above not more than two years before the application date. If the applicants have not taken above examination, could provide any English skill test result.

5. Applications for Admission

Prospective students may apply for admission at any time.

6. Submission of Documents

Anyone wishing to apply to our Graduate School is encouraged to contact a potential supervisor to discuss plans for education and research before submitting documents. Our **International Admissions Office** may be helpful for making the initial contact.

6-1. Applicants should send a complete set of application documents to the following address:

International Admissions Office
Matsumoto Dental University
1780 Gobara-Hirooka, Shiojiri, Nagano 399-0781 Japan
Phone: +81-263-51-2215

6-2. Please contact the International Admissions Office immediately if there is any change in your situation.

6-3. Your application documents and the examination fee cannot be reimbursed once they are received.

7. Documents Required for Entrance Application

In addition to submitting the documents listed in **Section 4-2 (Documents Required)**, applicants must also submit the Entrance Examination Fee, paid by bank transfer. Please do not send your examination admission card. For further instructions about making a bank transfer, please contact the International Admissions Office

8. Fee for Entrance Examination

The fee for the entrance examination is ¥30,000.

9. Selection

In addition to a review of the documents submitted, there may be an interview.

10. Notification of Results

Applicants will be directly notified of the results.

11. Entrance Formalities

11-1. Entrance Formalities

Successful applicants will receive a letter of acceptance and an admissions guidebook. Accepted students are expected to complete the matriculation process by the specified deadline, according to the instructions given in the guidebook. Those who complete the process will receive an acceptance form.

11-2. Declining Entrance

Tuition and miscellaneous fees can be refunded provided that an application for refund is submitted at least one week before the start of the semester. The matriculation fee, however, will not be reimbursed.

12. Fees Required for Matriculation

12-1. Fee Table

(As of April 2022)

Grander	Student Payment		Institution Expansion Expenses	Miscellaneous ※1	Additional costs ※2	Total
	Matriculation	Tuition				
1	¥300,000	¥600,000	¥100,000	¥3,300	¥30,000	¥1,033,300
2	-	¥600,000	-	-	¥20,000	¥620,000
3	-	¥600,000	-	-	¥20,000	¥620,000
4	-	¥600,000	-	-	¥20,000	¥620,000
Total	¥300,000	¥2,400,000	¥100,000	¥3,300	¥90,000	¥2,893,300

※1.Student Insurance(4year)

※2.Only for foreign student(incl.visa fee etc)

12-2. Payment

- Bank Transfer

All of the fees required for matriculation must be paid by bank transfer.

- Installment Payment

Tuition may be paid by an installment payment for each semester. The entire miscellaneous fee must be paid in full when completing entrance formalities.

For further information, please contact:

International Admissions Office
Matsumoto Dental University 1780 Gobara-Hirooka, Shiojiri, Nagano 399-0781 Japan E-mail: info_aogs@mdu.ac.jp

List of Research Projects

lecture	Specialism	Instructor	Main study contents
Department of Hard Tissue Research	Tissue and Cell Biology of the Hard Tissues	Hiroaki Nakamura, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1.Development and regeneration of tooth 2.Coupling of resorption to formation in bone
	Molecular and Cell Biology of the Hard Tissues	Nobuyuki Udagawa D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1.Signal transduction of osteoclast differentiation and function 2.Mechanism of bone destruction in periodontal disease and rheumatoid arthritis 3.Identification of osteoclast-derived osteoblast differentiation factors 4. Alveolar bone regenerative medicine using human bone marrow stem cells
		Yasuhiro Kobayashi D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Roles of Wnt in osteoclast differentiation and function 2. Mechanisms of alveolar bone remodeling by orthodontic forces 3. Identification of novel osteoclast inhibitory or stimulatory factors 4. Roles of osteocytes in osteoclast function
		Midori Nakamura D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1.Coupling mechanism between osteoblasts and osteoclasts 2.Identification of new compound for the enhancement of bone volume 3. Role of gravity on bone metabolism 4.Molecular mechanism of dental pulp cell calcification 5. Clinical research on alveolar bone regeneration
		Teruhito Yamashita, Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Regulatory relationships among transcription factors in osteoclast differentiation 2. Roles of osteocytes in the balance of bone resorption and formation 3. Bone cell differentiation under the control of circadian rhythms 4. Molecule mechanism of osteoclast polarization
		Yuko Nakamichi, Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Roles of Wnt signaling in metabolic bone diseases 2. Molecular mechanisms underlying pleiotropic effects of vitamin D 3. Exploration of druggable targets for metabolic bone diseases using sensitive reporter systems and integrative proteogenomic approaches
		Shunsuke Uehara Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. The roles of Wnt non-canonical pathways in the regulation of osteoclast function 2. Regulatory mechanisms of cytoskeleton in osteoclasts via Rho-Pkn3 signaling 3. Regulation of osteoclasts polarization by dynamin
		Masanori Koide D.D.S., Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Inhibition of alveolar bone resorption and regeneration of alveolar bone 2. Coupling mechanism from bone resorption to bone formation 3. Communication mechanism between osteoclasts, osteoblasts and osteocytes 4. Osteoclast factors that suppress the expression of sclerostin, which is a bone formation inhibitor
		Development and Engineering for the Hard Tissues	Hideaki Kagami, D.D.S.,Ph.D.

		Michiko Yoshizawa, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1.Oral mucosa regeneration by tissue-engineered oral mucosa fabricated with oral keratinocyte-enriched populations of small-sized progenitor/stem cells 2.Bone regeneration by bone, fat, and periodontal ligament cells 3.Study on periodontium regeneration and root resorption of transplanted teeth 4.Validation study and prognostic prediction of tooth transplantaion.
Molecular Engineering and Drug Developmental Science		B. Yukihiro Hiraoka, Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Development of inhibitors for superoxide dismutase from <i>Porphyromonas gingivalis</i>, a key causative agent of adult periodontitis. 2. Analysis of structure and function for peptidase.
		Norio Sogawa, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Analysis of regulatory mechanisms for feeding behavior by monoamines and monoamine- related factors. 2. Analysis of physiological functions of metal-binding protein, metallothionein.- especially for relevance to oral diseases
		Toshiaki Ara D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Basic study of kampo medicine for treatment of periodontal disease 2. Basic study of drugs affecting conditions of periodontal disease 3. Mechanism of LPS tolerance in gingival fibroblastsToshiaki Ara
Hard Tissue Pathology		Hiromasa Hasegawa D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Molecular-pathological study on abnormal keratinization of oral mucosal lesions 2. Researching the diversity of adipose and vascular tumors in the oral region 3. Clarifying the molecular mechanism involved in the developing of peri-coronal lesions in impacted teeth 4. Molecular-pathological diagnosis of oral tumors and tumor-like conditions
		Toru Hiraga, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mechanisms of cancer metastasis to bone 2. Development of treatment strategies for cancer bone metastasis 3. Mechanisms of bone invasion by oral cancer 4. Regeneration mechanisms of periodontal tissues
Experimental Biomaterials		Akihiro Kuroiwa D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Development of biomaterial 2. Proper use condition of biomaterial 3. Suitable mechanical considerations of biomaterials and organ 4. Studies on the clinical application of titanium and titanium alloys 5. Studies on the fitness of prosthesis 6. Clinical application for Dental CAD/CAM 7. Finite-element-analysis of prosthesis 8. Studies on the color of the resin cement
		Yukiko Yokoi D.D.S.,Ph.D	<ol style="list-style-type: none"> 1. Development and analysis of ceramic biomaterials. 2. Analysis of mechanism in tooth movement by finite element method.
Clinical Evaluation		Norimasa Okafuji, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Bone remodeling after experimental tooth movement 2. Assessment of cell proliferation during mandibular distraction osteogenesis 3. Morphological changes of the pharyngeal airway in patients before and after the surgery of the maxillofacial deformity 4. Reconstruction of experimental mandibular defect with rhBMP-2 and atelocollagen gel

		Akira Taguchi, D.D.S.,Ph.D. ,PgCert (University of Washington)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Screening for osteoporosis by dental radiographs 2. Early detection of atherosclerosis by dental radiographs 3. Influence of genetic factor on three-dimensional trabecular bone structure of the jaws 4. New ultrasound system for estimation of bone quality of the jaws 5. Association between osteoporosis and atherosclerosis 6. Establishment of uniform international standard for screening for osteoporosis in dental clinics 7. Establishment of remote education system for screening for osteoporosis 8. Three-dimensional analysis of trabecular bone structure of the jaws in patients with therapeutic drug for osteoporosis
		Keiichi Uchida, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. A study on the functional role of the liquid crystal system in dental digital diagnostic imaging 2. Hybrid CD-ROM diagnosed with dental radiographic image development of the system 3. Dental imaging using wireless LAN 4. Building Web Information systems and applications for education
		Toru Kageyama, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Effects of orthodontic tooth movement 2. Morphological changes in the temporomandibular joint before and after tooth movement 3. Morphological study on the relationship between arch dimensions and craniofacial structures 4. Cell proliferation during experimental tooth movement 5. Assessment of Pain regarding an orthodontics tooth movement
Department of Oral and Maxillofacial Biology	Oral and Maxillofacial Neurophysiology	Yuji Masuda, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Role of neural network on regulation of masticatory behavior 2. Influence of change in oral sensation on mastication 3. Central nervous system involved in expression of orofacial movement disorder 4. Property of lip-motor function
	Oral Neuroscience	Tohru Shibutani, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Assessment of local anesthetic effect by trigeminal somatosensory evoked potentials 2. Assessment of the depth of general anesthesia and psychosedation by bispectrum analysis (BIS) monitor 3. Assessment of autonomic nervous activity by spectral analysis in R-R interval of electrocardiogram.
		Eiji Kondo, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. An analysis of the basic mechanism of orofacial pain 2. Correlation between TRP channels and thermal thresholds in humans 3. Gene expression dynamics during neuropathic pain in the trigeminal system
		Junichi Kitagawa, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mechanism of neuropathic pain 2. Involvement of glial cell activation in modulation of orofacial motor dysfunction 3. Mechanism of the swallowing reflex in the nucleus tractus solitarius 4. A physiological study of NODOGOSHI feeling.
		Osamu Tadokoro, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clinical anatomy of head and neck 2. Morphology of Malassez epithelium 3. Morphology of sensory receptors and transmission in oral cavity 4. Roles of endocrine cells in oral epithelia 5. Regulatory mechanism of exocytosis in parotid gland

		Kiichi Taniyama, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Assessment of the depth of psychosedation 2. The effect of psychosedation on autonomic nerve activity 3. The effect of blood flow by local anesthetic
	Evaluation of Orofacial Function	Ikufumi Kurasawa, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Causes of symptoms of masticatory muscles involving in TMD 2. The effect of chronic orofacial pain on functional regulatory system of adrenal cortex 3. The effect of clenching on bite force regulatory mechanisms 4. The role of masticatory sounds (air conduction, bone conduction) on foods texture 5. The study of orofacial function related to playing musical instruments
		Daisuke Higuchi, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clinical research: patient-reported outcomes 2. Functional Assessment of prosthesis 3. Implant-assisted removable denture prostheses
Department of Oral Health Promotion	Oral Health Analysis	Jun-ichi Otogoto, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Effect of KPT laser irradiation for treatment of periodontal disease 2. Development and analysis on system of dental education
		Akio Yamamoto D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Basic Study of the Efficient Root Canal Irrigation and Aspiration methods. 2. Study on the Structure of Adhesive surface between Dental Materials and Tooth. 3. Experimental Study into the relationship between Core Materials and Root Fractures.
		Nobuo Yoshinari, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Clinical assessment and development of new procedure in periodontal tissue regeneration technique 2. Epidemiological and experimental research for the relationship between periodontal disease and systemic diseases 3. Effect of periodontal disease on aging, creation of anti-aging therapy 4. Development of laser-based minimally invasive periodontal disease treatment for the elderly 5. Survey of the peri-implantitis, development of treatment method
		Naoto Osuga, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Eruption state of mandibular molar and morphology of mandible 2. Serial changes in pH and fluoride-recharge and release in various condensation and filling materials 3. Observations of pulpotomy in rats using in vivo Micro-CT
		Akihiro Yoshida, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Oral biofilm formation and intracellular bacterial communication 2. Molecular genetics for the virulence of periodontopathic bacteria 3. The etiological analysis of aggressive periodontitis 4. Elucidation of the mechanism of disease onset due to the breakdown of oral flora.
		Atsushi Kameyama, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Bond durability between tooth structure and restorative materials 2. Quest for the solution regarding the adhesion inhibiting factors of dental adhesive materials 3. Influence of self/professional oral health care on the surface texture of dental restorative materials 4. Curing characteristics of light-cured dental materials with various light sources 5. Bonding characteristics between Er:YAG laser-irradiated tooth structure and dental restorative materials 6. Character/personality traits and self-reported oral complaints of the patients with oral malodor 7. Structural change of teeth/restorative materials by the ingredients of tooth whitening materials

		Yoshiko Masuda, D.D.S.,Ph.D	<ul style="list-style-type: none"> • Root canal irrigation using photodynamic therapy with laser irradiation. • Analysis of the released-growth factors into root canal by irrigation. • Investigations of the new treatments for irreversible pulpitis. • Elucidation of the mechanism of reparative dentine formation of the pulp cells.
Oral Health Promotion		Tadashi Ogasawara, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Evaluation of severely disabled persons' stress during dental treatment and support 2. Approach of cognitive psychology in behavior during dental treatment in the disabled people 3. Analysis of the decision making process in dental behavior 4. Dry mouth in the elderly and persons with disabilities
		Hiroyuki Haishima, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Research about the aging and development of eating function 2. Inspection about the effect of the dysphagia rehabilitation 3. Development of the meal assistance training kit
		Mihoko Tomida, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. fMRI analysis of the brain area related with pain 2. Relationship between emotion and the balance of autonomic nervous system 3. Effect of the oral function in the brain
		Ichiro Kawahara, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. The epidemiologic study of the needs and problems for regenerative medicine. 2. The science for biomaterials.
		Masahito Shoumura, D.D.S.,Ph.D.	<ol style="list-style-type: none"> 1. Study on the shock absorption capability of mouthguards for sports 2. Relationship between strain and stress in tooth 3. Research on the motor function impact of the change in stomatognathic system
		Takayuki Yamaga, D.D.S.,Ph.D	<ol style="list-style-type: none"> 1. The influence of oral health status on the incidences of coronary heart disease or cerebrovascular disease 2. The establishment a cut-off point of volatile sulfur compounds concentration in oral cavity for predicting periodontal disease progression
		Naoto Osuga, D.D.S.,Ph.D. and Others	<ol style="list-style-type: none"> 1. System of medical insurance and medical expenses in Japan 2. Statistics on the trend of patients and diseases 3. Management strategy for stable, good quality medical and dental services offer 4. Efficient distribution of the medical resource 5. International comparison of medical syst
Health Care Management and Policy			

松本歯科大学キャンパス Matsumoto Dental University campus



◆交通案内

Transportation guide

本学は、JR塩尻駅から車で約5分のところにあり、初めての方は、JR塩尻駅から大学シャトルバス(駅東口発着)またはタクシー利用が便利です。

There is this school by car from JR Shiojiri Station to approximately five minutes, and, in the first one, a university shuttle bus (station east exit departure and arrival) or the taxi use is convenient from JR Shiojiri Station.

◎JR 新宿～塩尻

JR Shinjuku - Shiojiri

特急「あずさ」で約2時間30分

It is approximately two hours 30minutes in limited express "Azusa"

◎JR 大阪～塩尻

JR Osaka - Shiojiri

新幹線・特急「しなの」で約3時間

It is approximately three hours in Shinkansen, limited express "Shinano"

◎道路 東京～塩尻

Road Tokyo - Shiojiri

中央自動車道→長野自動車道で約2時間30分

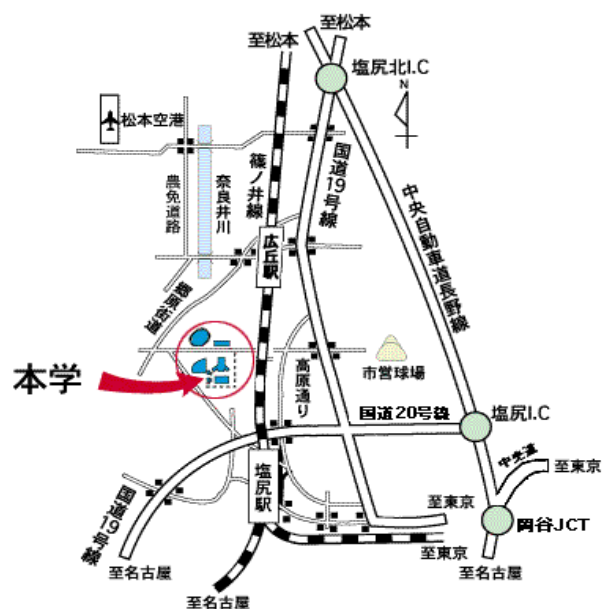
It is approximately two hours 30 minutes in Chuo Expressway → Nagano Expressway

◎道路 名古屋～塩尻

Road Nagoya - Shiojiri

名古屋自動車道→中央自動車道で約2時間

It is approximately two hours in Nagoya Expressway → Chuo Expressway





松本歯科大学大学院歯学独立研究科

〒399-0781 長野県塩尻市広丘郷原 1780 0263(51)2215

ホームページ <https://www.mdu.ac.jp>